

厚生労働記者会 様

特定非営利活動法人・KHJ全国ひきこもり家族会連合会レク
令和5年4月4日(火) 15:00~

- ① KHJ 調査「ひきこもり本人家族の求めるオンラインを活用した支援」
- ② (3月31日公表) 内閣府ひきこもり実態調査結果に対するKHJの見解

発言：山本洋見・藤岡清人共同代表、伊藤正俊前代表 池上正樹副代表、上田理香事務局長

◎KHJ 調査 R4.11~R5.1 (ひきこもり者のいる家族 338 人回答)

- ・家族会に参加して「良い変化があった」81・7%
- ・ふだん使用する SNS 「LINE」45・9%。「Facebook」13・0% 「Twitter」11・8%
- ・検索で知りたい支援情報 「支援内容」82・8% 「場所」64・5% 「スタッフがひきこもりに詳しいか」57・1%

・オンラインを活用した支援に家族が求めるもの

- ①利用率：「利用したことがない」82・5% 「継続的に利用している」2・7%
- ②匿名性：「名乗らなくてもよい」69・3% 「自分の顔が映らない」66・0%
「声を出さなくてよい(チャットで参加できる)」56・8%
- ③利用時間：「24時間利用できる」58・0% 「時間の長さに制限がない」53・2%
- ④利用目的：「講演を聞く」74・9% 「福祉情報の収集・相談」73・1%
「医療情報の収集・相談」70・7% 「本人の就労に関する情報収集」65・3%

◎KHJ 調査 R4.11~R5.1 (ひきこもり本人 123 人回答)

- ・ふだん使用する SNS 「Twitter」49・6% 「LINE」43・1% 「Instagram」24・4%
- ・ふだん使う動画等 「YouTube」73・1% 「ブログ」22・8% 「ニコニコ動画」15・4%
- ・検索で知りたい支援情報「支援内容」79・7% 「場所」66・7% 「対象年齢」52・8%

・オンラインを活用した支援に本人が求めるもの

- ①利用率：「利用したことがない」85・4% 「継続的に利用している」1・6%
- ②匿名性：「名乗らなくてもよい」74・8% 「自分の顔が映らない」74・8%
「声を出さなくてよい(チャットで参加できる)」65・1%
- ③利用時間：「時間の長さに制限がない」55・3% 「24時間利用できる」55・2%
- ④利用目的：「居場所に参加する」75・6% 「就労(収入を得る、情報収集等)」70・8%
「福祉情報の収集・相談」69・1% 「自己表現(文章、イラスト、動画などの発信)」52・9%

- ・就労に関すること ①就労経験「ある」73・2% ②就労意欲「現在、働きたいと思っている」74・8%
- ③働き方「オンラインやテレワークで働きたいと思っている」47・2%

◎本人や家族が職場や働き方に求めていること(6因子が示唆された 因子分析結果)

家族①情報伝達 ②柔軟な働き方 ③心情や個性への配慮 ④働きがい 認められる経験 ⑤体調への配慮 ⑥知識や連携
本人①仕事上の配慮 ②働きがい やりがい ③体調への配慮 ④職場環境 ⑤知識や連携(本人理解)⑥柔軟な働き方

◎自由記述より~本人家族が望んでいる支援について~

- ①オンライン支援に関する効果についての実感
- ②就労における本人の傷つき体験について 本人5割、家族3割が回答(回答数 本人61人/123人 家族123人/338人)
- ③ひきこもり支援をオンラインで受ける際の懸念点
- ④ひきこもり地域支援センター拡充に伴い強化してほしい点 本人77人 家族220人-(本人家族の6割以上が回答)

お問い合わせ 090-2569-1967 ikegami@khj-h.com 広報担当(池上) 本部事務局 03-5944-5250